


業 種	トラック
取組分野	安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等
テ ー マ	「ティーチング」と「コーチング」による教育・訓練手法による事故の削減及び未然防止
取組の狙い	経験年数の浅いドライバーに対しての教え込み教育である「ティーチング手法」による知識や技術を伝える教育・訓練と、経験のあるドライバーに対する問いかけて気付かせる「コーチング手法」の導入による教育・訓練を実施することで、経験年数に応じた技量向上を図り、事故の削減及び未然防止を目指す。
具体的内容	<p>【ティーチング手法による教育・訓練等】</p> <p>1. 平成 16 年より、各職場が培ってきた技術・技能を持ち寄って当社の現場作業、運転のあるべき姿を議論し合い、「現場」「現物」「現実」+「原理」「原則」=5「現・原」主義をもとに検証しながら構築してきたものを『センコー流』と呼びます。幅広い事業にまたがる当社の物流技術の基盤となるもので、全員が身につけるべき基礎技能です。新人や『センコー流』に初めて接する方には、業務を通じてマンツーマンであるべきレベルまで OJT (On-The-Job Training) 教育を各エリアにいる教育担当者（トレーナー）が行います。</p> <p>また、求める標準レベルに達しているかの実技テストを実施し、基礎技術修得の見極めを、教育担当者（トレーナー）が乗務認定として行います。</p> <p>2. 乗務認定合格後は、職場でセンコー流のレベルアップを図るため、OFFJT (Off-The-Job Training) 教育として、日本全国から当社研修施設であるクレフィール湖東に集合します。これが基礎訓練（若経験ドライバー対象）になります。基礎訓練では『センコー流』として学んだことを、実車を使い、自らが体験して、必要性を感じ取れるような内容となっており、「ティーチング手法」で指導を行っています。</p>
	 <p style="text-align: right;">クレフィール湖東</p>

3. 基礎訓練参加後は、中 5 年を開け OFFJT 再教育として、クレフィール湖東にてプロ訓練に参加してもらいます。プロドライバーとして基礎技能については修得済みなので、実走行に近いような内容を取り入れています。例えば前車との車間距離が短い状態での急ブレーキなど疑似体験を通して、車間距離の必要性を体験してもらいます。また、最近のトラックは安全装置が装着されているため、衝突被害軽減ブレーキの疑似体験も実施しています。
4. 又、各エリアにいる教育担当者（トレーナー）には、OJT 教育として、年に 2 回以上、センコーグループで多発している事故内容をもとに、地区訓練で疑似体験をして、ドライバー教育に努めてもらっています。特に、令和 3 年からは経験 3 年目の全ドライバーへの添乗指導の実施や、大型車両特性を学ぶための特設コースを考案し、若経験ドライバーへ訓練を行う等の教育も実施しています。

※OFFJT (Off-The-Job Training) : 職務現場を一時的に離れて行う教育・訓練で、具体的には、企業内集合研修等を指します。

【コーチング手法による教育・訓練等】

1. グループ全体で事故件数を経験年数別で見たときに、経験年数 3 年未満の事故が最も多く、その対策として基礎技能『センコー流』を指導するためには、「ティーチング手法」で良かった。
一方で経験 10 年以上のベテランドライバーの事故件数も増加傾向にありました。
2. しかし、ベテランドライバーは知識や経験も豊富で指導も何度も受け、安全運転に向けて、やるべき事、やらねばならない事は分かっています。その上でやらない、やれていないところが見受けられ、また自己流の運転が確立している為、教え込み教育の「ティーチング」では限界がありました。
その為、新たな教育方法がないか思案し、取り入れたものが「コーチング手法」です。
3. 「コーチング手法」を全国展開するうえで、各支店の経営者、管理者の理解が重要なので、全国 12 か所で各支店の経営者・管理者・コーチングトレーナー候補を集め現地説明会を開催しました。
4. しかし新たな教育法「コーチング手法」を取り入れていく上では、指導者側への教育の難しさがありました。トレーナーは教え込み教育の「ティーチング」で育ち「ティーチング」で指導もしてきているので、ドライバーへ質問を投げかけた際、答えが出てこない、つい答

えを先に言ってしまったり、想定外の返答が来ると、会話が続かないことがありました。

モデル開催した地区の教育担当者（トレーナー）と一緒に指導ポイントとなる場面をピックアップし、ドライバーと指導者側の想定されるシナリオ例をいくつか作成し、これをもとに添乗指導の模擬練習を重ねていきました。

その結果、時間はかかりましたが、反復練習を重ねるたびに、スムーズな会話が出来、「コーチング手法」を身に付けてもらうことが出来ました。また、ある営業所においては、添乗指導だけではなく、ドライバーの作業手順の中にも「コーチング手法」を取り入れて教育をするトレーナーも出てきました。そして令和3年迄には総勢56名のコーチングトレーナーを配置することができました。

①コーチング手法について学ぶトレーナー



②3年目ドライバーへの添乗指導



取組の効果	<p>経験 3 年目の全ドライバーへの添乗指導は取組を開始したばかりで効果は検証中ですが、令和 3 年では経験 3 年未満のドライバーの在籍人数（約 2,000 人）当たりの事故発生率が対前年から 1%低減しています。</p> <p>コーチングについてはコロナ禍の影響で本格的な展開が令和 4 年度からの為、効果についてはこれからの把握となります。</p>
事業者名	センコー株式会社 安全品質環境管理部 安全衛生管理グループ (連絡先：06-6440-5165)